



港北ラウンジニューズ そよ風

2013年
No. 89

横浜市港北国際交流ラウンジ KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

わくわくまつり特集(とくしゅう)!!

港北国際交流ラウンジと大豆戸地域ケアプラザ共催によるわくわくまつりが去る10月13日に開催されました。

当日は晴天にめぐまれ1279名(うち外国人107名)が来館し、外国人学習者の成果発表やお国紹介など多彩なイベントを楽しまれました。区長も来館されタイダンスに参加されたりミニ外国語を体験されました。なお当日フリーマーケットで売り上げた代金など37,312円は、震災遺児の進学を支援する「みちのく未来基金」に寄付させていただきました。

< 過去5年間の入場者数(単位:人) >

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
日本人	661	924	1040	1129	1172
外国人	82	117	142	125	107
合計	743	1041	1182	1254	1279



にほんごがくしゅうしゃ にほんご
日本語学習者による日本語スピーチ

ウー ティーン 括儀さん(台湾)



<日本滞在6ヶ月。高校時代1年間日本に留学。趣味：読書>

私は、12歳の時に姉と共にニュージーランドに移住しました。両親が教育のため姉と私をそこに送ったのです。又16歳の

ときに交換留学生として日本の高校で1年間勉強しました。そのとき初めて日本語に出会いました。その後、一度ニュージーランドへ帰り、25歳の時ファッションを研究するためスウェーデンに行きました。ですから私は中国語、英語、日本語の他に、スウェーデン語も少し話すことができます。ところで私達は何故新しい言語を勉強するのでしょうか？そして何故それが面白いのでしょうか？外国語を学ぶことは確かに容易ではありません。でも外国語を学ばない限り、その国の文化を理解することはできません。なぜなら言語はその国の鏡であり、文化の深さや特徴をそのまま反映していると思うからです。例えば、江戸時代に「初鯉は女房子供を質に入れてでも食べ」と言われたほど日本人は魚が大好きです。だから日本は魚の呼び名の数が世界で最も多いと言われています。英語では tuna の一言ですが、日本語では、まぐろ・シーチキン・鉄火などいろいろな言い方があります。また皆さんは日本の食材にこめられた様々な意味を知っていますか？例えば 練のお腹から取り出した、たくさんの黄金色の卵が詰まっている「数の子」には子孫繁栄の願いが、そして祝い事に欠かせない「真鯛」にはおめでたいと言うお祝いの意味が込められています。ですから食材名をたくさん覚えると、それだけ日本の食文化が良く理解できると思います。このように日本語には興味深い言葉がたくさんあります。これからも勉強を続けていけば日本語だけでなく、日本人の心ももっと深く理解できるようになると思います。



メリッサ・ポーハさん(フィリピン) <日本滞在1年半。趣味：日本アニメ・ハローキティ等>



5歳の時テレビの日本アニメの虜となり、日本に興味を持ちました。そのアニメはボルタスVであり今でもその主題歌を歌うことができます。(実際に歌い

拍手喝采を浴びました!)その後メカンドロボットやキャンディキャンディが好きになりました。小学校に入ってからハローキティが好きになり、特にそのグッズが気に入りましたが、高くて手が出ませんでした。日本に対する興味は益々強くなり、将来日本に行ってキティちゃんを見たり、ピューロランドやディズニーランドで遊びたいとすごく思いました。大学を卒業後日本の東北大学の文部省奨学金試験に応募し運よく受かりましたが、家族から遠く離れることに母が反対したため日本に行くことはあきらめました。残念ながら、私の子供時代の夢は実現しませんでした。その後日本資本の海運会社に入社し、運良く役員秘書となり、日本語や日本文化を教えてもらうことができました。その役員は良い上司で、私を自分の娘のように接してくれました。そして私の日本への興味は再び目覚めました。その後社内結婚した私の夫が日本に来る機会があり、遂に私の子供の頃からの日本に来る夢は実現しました。日本に来て失望はしませんでした。国土は美しく、人々は温かく親しみやすいです。

フ タオ 蒲 涛さん(中国四川省) <日本滞在1年。化学



会社のエンジニア。趣味：アニメ・ポップカルチャー>

私はフ・タオと申します。発音が似ているのでだ名が「フー太郎」に成ってしまいました。今日はオタ

クの話（はなし）をします。日本（にほん）ではアニメが好きな人（ひと）はよく「オタク」と呼（よ）ばれています。実は私（わたし）はオタクなんです。周り（まわり）からからかわれますが、こんな趣味（しゅみ）でも誇（ほこ）りを持って（も）楽しんで（たの）んでいます。どんなきっかけでオタクに成（な）ったかと言う（い）と、実はゲームです。小学校（しょうがっこう）時代（じだい）スーパーマリオとの出（であ）いこそゲームの世界（せかい）に入り込（こ）むきっかけでした。中学生（ちゅうがくせい）になり遂（つい）にRPGの魅力（みりょく）を感（かん）じました。RPGとはロール・プレイング・ゲーム（しゅじんこう）になりきり冒険（ぼうけん）を楽し（たの）むゲームです。このファンタジー世界（せかい）に惹（せ）かれて、台詞（せりふ）を知るため（ため）に日本語（にほんご）を勉強（べんきょう）しようと決（けつ）意（い）しました。大学生（だいがくせい）になり独学（どくがく）で日本語（にほんご）を学（まな）び始め（はじ）めました。勉強（べんきょう）すればするほど、日本（にほん）のことがす（す）きになりました。そしてゲームに限（かぎ）らずアニメやドラマや伝（でん）統（とう）文（ぶん）化（か）にも興（きょう）味（み）を持ち（も）ちました。社（しゃ）会（かい）人（ひと）と成（な）り、ようやく転勤（てんきん）のチャン（チャン）スを掴（つか）んで日本（にほん）にやっ（や）ってき（き）ました。まるで漫（まん）画（が）のよう（よう）な町（まち）並（な）み・美（うつく）しい桜（さくら）・紅葉（もみぢ）・着（き）物（もの）・美（うつく）しい和（わ）食（しょく）・財（ざい）布（ふ）の天（てん）敵（てき）である秋（あき）葉（は）原（はら）・初（はつ）音（ね）ミク（ミク）のライブ（ライブ）・・・そしてAKB総選（そうせん）挙（きよ）に投（とう）票（ひょう）でき（き）たことがオタクの私（わたし）にとっ（と）ては大（だい）満（まん）足（そく）でした。

ペレラ・チャミラさん（スリランカ） <日本滞在10



ヶ月（かげつ）。趣味（しゅみ）：読（よ）書（しょ）・ク（ク）リケ（ケ）ット（ット）・バドミント（バドミント）ン（ン）>
私（わたし）はテクノロジー（テクノロジー）を学（まな）ぶため（ため）にスリランカ（スリランカ）から日本（にほん）にき（き）ました。スリランカ（スリランカ）はインド（インド）の南（みなみ）にある島（しま）で、首（しゅ）都（と）はジャ（ジャ）ワ（ワ）ー（ワ）デ（デ）ネ（ネ）プ（プ）ラ（ラ）です。面積（めんせき）は北（ほく）海（かい）道（どう）の約（やく）8割（わり）で、人口（じんこう）は約（やく）2千（せん）万（まん）人（にん）です。北（ほく）部（ぶ）は暑（あつ）く、中（ちゅう）部（ぶ）は涼（すず）しく、南（みなみ）部（ぶ）は暖（あた）かいです。スリランカ（スリランカ）の海（うみ）はエメ（エメ）ラルド（ラルド）色（いろ）で、沖（おき）縄（なわ）とおなじ位（くらい）きれい（きれい）です。特（とく）に東（とう）の海（かい）岸（がん）は波（なみ）が穏（おだ）やか（やか）でサーフ（サーフ）ィン（ィン）がで（で）き（き）ます。残（ざん）念（ねん）な（な）が（が）ら私（わたし）はで（で）き（き）ませ（ませ）ん。鯨（くじら）を（を）見（み）る（る）こ（こ）とも（とも）で（で）き（き）ます。スリランカ（スリランカ）の自（じ）然（ぜん）と文（ぶん）化（か）を（を）楽（たの）しむ（む）た（た）め（め）に観（かん）光（こう）客（きゃく）が（が）多（た）数（すう）来（き）ます。中（ちゅう）部（ぶ）には山（さん）と川（がわ）が（が）た（た）く（く）さん（さん）あ（あ）り（り）ます。サ（サ）マ（マ）ナ（ナ）ラ（ラ）山（さん）は2243mあり、山（さん）頂（ちよう）ま（ま）で5時（ご）間（かん）か（か）かり（り）ます。そこ（そこ）に有（あ）り（り）な（な）お（お）寺（てら）が（が）有（あ）り（り）、中（なか）に仏（ぶつ）陀（だ）の（の）左（ひだり）の（の）足（あし）跡（あと）を（を）見（み）る（る）た（た）め（め）に多（た）く（く）の（の）人（ひと）々（々）が（が）上（あ）っ（あ）っ（あ）つ（つ）て（て）き（き）ま（ま）す。山（さん）には紅（こう）茶（ちゃ）畑（はたけ）が（が）あ（あ）り（り）ます。スリランカ（スリランカ）の紅（こう）茶（ちゃ）は有（あ）り（り）な（な）で、リ（リ）ブ（ブ）ト（ト）ン（ン）や（や）ト（ト）ワ（ワ）イ（イ）ン（ン）グ（グ）な（な）の（の）ブ（ブ）ラ（ラ）ン（ン）ド（ド）が（が）あ（あ）り（り）ま（ま）す。私（わたし）は日本（にほん）の緑（りょく）茶（ちゃ）とスリランカ（スリランカ）の紅（こう）茶（ちゃ）の両（りょう）方（ほう）が（が）好（この）び（び）で（で）

す。私（わたし）は甘（あま）党（とう）です（です）から（から）や（や）っ（っ）ぱ（ぱ）り（り）紅（こう）茶（ちゃ）にはメ（メ）ロ（ロ）ン（ン）パ（パ）ン（ン）です。その味（あじ）を日本（にほん）で（で）覚（まい）ち（ち）食（た）べて（て）い（い）ま（ま）す。スリランカ（スリランカ）はお（お）寺（てら）や（や）お（お）城（しろ）が（が）有（あ）り（り）な（な）で、8つ（はち）の（の）世（せ）界（かい）遺（い）産（さん）が（が）有（あ）り（り）ま（ま）す。それ（それ）ら（ら）の（の）中（なか）にはお（お）釈（しやく）迦（か）様（さま）の（の）歯（は）が（が）祭（まつ）ら（ら）れて（て）い（い）る（る）お（お）寺（てら）や、女（め）神（がみ）の（の）絵（え）が（が）5百（ひゃく）位（い）壁（かべ）に描（えが）か（か）れた（ら）城（しろ）跡（あと）も（も）有（あ）り（り）ま（ま）す。又（また）サ（サ）フ（フ）ア（ア）の（の）生（せい）産（さん）は世（せ）界（かい）一（いち）で、一（いち）番（ばん）大（お）き（き）い（い）ブ（ブ）ル（ル）ー（ー）サ（サ）フ（フ）ア（ア）も（も）見（み）つ（つ）か（か）り（り）ま（ま）した。17kgも（も）有（あ）り（り）ま（ま）した。勿（もちろん）論（ろん）私（わたし）は妻（つま）にブ（ブ）ル（ル）ー（ー）サ（サ）フ（フ）ア（ア）の（の）ペン（ペン）ダ（ダ）ント（ント）を（を）プ（プ）レ（レ）ゼ（ゼ）ント（ント）し（し）ま（ま）した。皆（みな）さん（さん）は是非（ぜいひ）スリランカ（スリランカ）に（に）来（き）て（て）く（く）だ（だ）さい。私（わたし）が（が）案（あん）内（ない）し（し）ま（ま）す。

ピュミ・ハプアラチさん（スリランカ） <日本滞在

2年（ねん）半（はん）。趣味（しゅみ）：ガ（ガ）ー（ー）デ（デ）ニ（ニ）ン（ン）グ（グ）（野菜（やさい）など）・料（りょう）理（り）>
2011年（ねん）に結（むす）婚（こん）し（し）て（て）2月（がつ）に日本（にほん）にき（き）ま（ま）した。ち（ち）よ（よ）う（う）ど（ど）そ（そ）の（の）1ヶ（かげつ）月（げつ）後（ご）に東（とう）日（にっ）本（ぽん）大（だい）震（しん）災（さい）が（が）起（お）こ（こ）り（り）ま（ま）した。スリランカ（スリランカ）には地（じ）震（しん）が（が）な（な）い（い）の（の）で（で）す（す）ご（ご）く（く）び（び）っ（っ）くり（り）し

ま（ま）した。2004年（ねん）の（の）スマ（スマ）トラ（トラ）大（だい）地（ち）震（しん）ではスリランカ（スリランカ）も（も）大（お）お（お）き（き）津（つ）波（なみ）に（に）呑（の）み（み）込（こ）ま（ま）れ（れ）ま（ま）した。私（わたし）が（が）住（す）ん（ん）で（て）い（い）た（た）町（まち）は大（だい）丈（ぢやう）夫（ぶ）で（で）し（し）た（た）が、海（うみ）の（の）近（ちか）く（く）に（に）住（す）ん（ん）で（て）い（い）た（た）人（ひと）た（た）ち（ち）が（が）4万（まん）人（にん）亡（な）く（く）な（な）り（り）ま（ま）した。あ（あ）の（の）時（とき）は（は）す（す）ご（ご）く（く）悲（かな）し（し）か（か）つ（つ）た（た）で（で）す。2011年（ねん）3月（がつ）11日（にち）の（の）あ（あ）の（の）大（お）津（つ）波（なみ）も（も）ま（ま）った（た）く（く）一（いっ）緒（じゆ）な（な）の（の）で（で）、皆（みな）さん（さん）の（の）気（き）持（も）ち（ち）も（も）よ（よ）く（く）わ（わ）か（か）り（り）ま（ま）す。そ（そ）ん（ん）な（な）こ（こ）と（と）が（が）あ（あ）つ（つ）て（て）ひ（ひ）と（と）理（り）解（かい）で（で）き（き）た（た）の（の）は（は）「人（にん）間（げん）が（が）ど（ど）ん（ん）な（な）に（に）賢（か）し（し）く（く）て（て）も（も）自（じ）然（ぜん）を（を）相（あ）い（い）手（て）に（に）は（は）勝（か）て（て）な（な）い（い）ん（ん）じ（じ）ゃ（ゃ）な（な）い（い）か。」と（と）い（い）う（う）こ（こ）と（と）で（で）す。さ（さ）て（て）、こ（こ）こ（こ）から（ら）は（は）少（すこ）し（し）スリランカ（スリランカ）の（の）こ（こ）と（と）を（を）お（お）話（わ）し（し）た（た）い（い）と（と）思（おも）い（い）ま（ま）す。スリランカ（スリランカ）は（は）日本（にほん）と（と）お（お）な（な）じ（じ）よう（よう）に（に）仏（ぶつ）教（きやう）徒（た）の（の）国（くに）で（で）す。他（ほか）の（の）宗（しゆ）教（きやう）の（の）人（ひと）た（た）ち（ち）も（も）住（す）ん（ん）で（て）い（い）ま（ま）す。小（こ）さ（さ）い（い）島（しま）国（くに）で（で）す（す）が、世（せ）界（かい）遺（い）産（さん）は（は）8ヶ（か）所（しょ）も（も）あ（あ）り（り）ま（ま）す。4年（ねん）前（まへ）に（に）30年（ねん）間（かん）も（も）続（つづ）いた（た）内（ない）戦（せん）が（が）終（お）わ（わ）つ（つ）て（て）今（いま）は（は）平（へい）和（わ）な（な）国（くに）に（に）な（な）り（り）ま（ま）した。そ（そ）して（して）観（かん）光（こう）客（きゃく）も（も）す（す）ご（ご）く（く）増（あ）え（え）て（て）い（い）ま（ま）す。皆（みな）さん（さん）も（も）是非（ぜいひ）機（き）会（かい）が（が）あ（あ）り（り）ま（ま）した（ら）足（あし）を（を）運（はこ）ん（ん）で（て）み（み）て（て）く（く）だ（だ）さい！私（わたし）は（は）私（わたし）の（の）国（くに）と（と）日本（にほん）を（を）す（す）ご（ご）く（く）愛（あい）し（し）て（て）い（い）ま（ま）す。



世界遺産ポロンナルワ



シギリヤロック

袁 春風さん(中国・大連) <日本滞在5年。趣味：韓国ドラマ鑑賞・写真撮影>



私が日本に来たばかりの時、悲しい思いや悔しい思いがありました。あるとき、うちの近くの商店街へ買い物に行きました。いつも

通る店でバナナを安く売っていました(一籠100円)。私が籠からバナナを取って比べていると、その店の主人が急に私の背中を押して大きい声で何か言いました。私はびっくりしましたが、何を言われたのかわかりませんでした。「多分日本での買い物は、手に取って選んではいけないんだ。」と思いました。その主人に「日本語がわからなかったら、買い物しないで日本語を勉強しなさい。」と言われたようでした。その言葉に何か言いたくても日本語で何も言えませんでした。私は悲しくて悔しくて自尊心を傷つけられました。それから今まで、その店には一度も買い物に行っていないです。こういう気持ちになったことはまだいろいろありますが、そのたびに感動したことを思い出すようにしています。2011年3月11日に大地震が起きました。皆さんと同じようにずっと忘れられないことです。あの日、私は東扇島の工場で働いていました。子供が保育園にいるので心配でした。しかしバスもないし電車も止まったし、保育園までは歩かなければなりません。私は道に迷って随分遠回りしてしまっただけでした。あわてて近くの女の人の人に道を聞きました。その人は携帯を使いながら私を連れて道を探してくれました。20分もかかりました。あわてていたので、その女の人の名前を聞けません。顔も覚えていません。でも彼女の親切は、永遠に忘れないでしょう。日本での経験は、楽しみも痛みもいつまでも覚えていると思います。

佐藤 高志さん(日本) <日本で生まれ、9歳から最近まで中国在住。趣味：ピアノ演奏>



こんにちは。私は父が日本人で母が中国人です。今日は「中国語の漢字と日本の漢字」についてスピ

ーチします。今の中国では「簡体字」という字体を使っています。中国由来の「繁体字」は難しすぎるため、2000年前の始皇帝の時代から漢字の「簡化」が少しずつ始まり徐々に新中国語が普及しました。日本の漢字は一世紀ごろ中国から伝わってきて、変化しながら日本に定着しました。この字体は「新字体」と言われています。1923年の「常用漢字表」・1946年の「当用漢字表」を経て、現在に至っています。一方、中国が建国した3年後の1952年、中国では「簡体字」を普及させることが決められ、1955年に「漢字簡化草案」が発表され数年の使用実験を経て「簡化字総表」にまとめられ発展しました。実は、日本は中国より先にヨーロッパ文明を学びました。その時にいろいろな「言葉」を発明しました。中国では「漢字を簡単化」する時に、日本からいろいろな言葉を参考にしました。たとえば、「自由・警察・科学・経済」などは日中両国で使用され意味もまったく同じです。日本の漢字は中国から伝わったのですが、今は逆に中国の参考になりました。

ポール・ペインさん(アメリカ) <日本滞在20年。趣味：読書・旅行・クッキング>



(日本語教室開所以来、一番古い生徒さん。いつも手作りのクッキーを持参。今年念願の富士登山を達成。)

私の趣味は旅行です。これまでに、フランス・ドイツ・オーストリア・イギリス・トルコへ行きました。一番よかったのはフランスです。特にパリは大好きです。ルーブル美術館やベルサイユ宮殿は素晴らしいです。パリの公園もよく散歩しました。これからは、南極へ船で行きたいと思っています。アムンゼンの冒険に感激したからですが、今の地球は温暖化がグローバルな問題となっているので「温暖化の問題がどれくらい深刻になっているか。」この目で南極の雪と氷をしっかりと見たいと思っています。



イベントホールのもよおもの 催し物



まつ 祭りばやし



ちゅうごくげき シンディジア
中国劇「井底之蛙」



タイ・ダンス (区長も参加)



ラテン・サルサ



がっしょう ほうがっきえんそう
合唱と邦楽器演奏



バリ・ダンス



にほんごげき わくせい
日本語劇「おさるの惑星」



ハワイアン・フラ



ブルーグラスミュージック



ベリーダンス



せかい 世界のファッションショー



さいご 最後はみなでフォークダンス

くにしょうかい お国紹介



インドネシア



カナダ



コロンビア



チリ



ナイジェリア



フランス

がいこくご ミニ外国語コーナー



ミニ外国語コーナーには、ドイツ語・ミャンマー語・オランダ語・ペルシャ語・ベトナム語を知りたい人々が大勢集まり、ネイティブ・スピーカーから日常の挨拶など簡単な言葉を教わりました。

やがい 野外イベント



地元町内会の皆さんが、手打ちそば、けんちん汁、焼きそば、わたあめなどを販売しました。



その他のコーナー



カフェ・ド・ラウンジ
マンゴージュースが1番人気でした。

伝統的でんとうてき日本文化にほんぶんかの茶道さどうを紹介しょうかいしました。初めての経験はじめてのけいけんなのか少し緊張きんちやうしているようです。



港北こうほくふれあいまつり（区主催くしゆさい：10/19）に出展しゆってん

当ラウンジのテーマは「世界の広場せかい ひろばであそびましょ！！」
遊びあそびの文化ぶんかを通しての国際交流こくさいこうりゆうで <世界のジャンケン大会せかい たいかい> を催もよおしました。



韓国かんこくのジャンケン。
韓国人かんこくじんスタッフが頑張がんばっています。



インドにはジャンケンがないそうです。
日本語にほんごを習ならっているので、日本語にほんごでジャンケンポン。

ラウンジボランティア 永年活動者 表彰 !!

わくわくまつり開催にさきだち、ラウンジのボランティア活動を10年続けておられる11名の方々の表彰式が行われました。受賞された方々をご紹介します。(順不同)

市田洋子さん 飯田奈保子さん 磯村和泉さん

小林五月さん 宮田美登里さん 高木一さん

黒田直子さん 広瀬勢津子さん 吉崎直子さん

斎藤昌代さん 中井雅子さん



～ ボランティア10年をふりかえって～

「ニューカマー子どもの教室」代表 中井雅子



10年と言えば、私は夫の海外勤務より帰国したばかりで息子たちは15歳と17歳でした。友人より港北国際交流ラウンジを立ち上げたということは聞いており、私は友人に誘われるまま日本語教室のボランティアをすることになりました。その後“ニューカマー子どもの教室”で海外から来る子供たちに日本語や算数、国語を教えるようになりました。毎週土曜日の2時間は私の生活の一部となり、中国やフィリピンなど様々な国から来日した子供に関わることになりました。10年は早いです。小学校1年で来日し日本語もたどたどしかった子供が無事に中学校を卒業していきました。長く通い続ける子どももいれば様々な事情を抱え、帰国していく子供もいます。頑張れ頑張れと言いながら何とか勉強を教えています。言葉も通じず文化も違う国へ親の事情で連れてこられた子供たちの苦しみや悩みは大変なものだと思います。しかし彼ら自身が乗り越えていかなければなりません。私たちに何ができるのだろうと悩み続けてきた10年であり、これからもそうでしょう。この10年で私の家族にも変化がありました。息子たちは社会人となり、一人は地方で働いています。それでもボランティアをやめようとは思いませんでした。他人から見ると何を好き好んでボランティアをするのかと不思議に思われるかもしれませんが。実は私が子供たちを支えてきたのではなく、苦勞を乗り越えて成長していく彼らから元氣をもらってきたのです。

横浜市港北国際交流ラウンジ

KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町316-1

Tel 045-430-5670 Fax 045-430-5671

E-mail kohokulounge@yokohama.nifty.jp

http://homepage2.nifty.com/kohokulounge

* 駐車場はありません

